

野菜畑作生産情報第1号（要約版）

平成28年4月20日
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

- ◎ 小麦の生育は早まっている。適期の追肥で生育量を確保しよう！
- ◎ にんにくの生育は早まっている。適期の追肥と春腐病等の防除を徹底しよう！

○小麦

- 1 生育は平年より早まっている。一部ほ場でうどんこ病の発生が見られる。
- 2 2回目の追肥は、止葉抽出期～出穂期に行う。
- 3 うどんこ病と赤かび病の適期防除に努める。

○にんにく

- 1 消雪が早かった地域では、既にりん片分化期に達しているほ場もある。その他の地域でも平年より早まると予想される。
- 2 追肥は、りん片分化期等の生育状況を確認しながら適期に行う。
- 3 さび病、春腐病の早期発見、早期防除に努めるとともに、春腐病の被害株は抜き取って処分する。

○ながいも

- 1 春掘作業は、消雪が早かったため、順調に進んでいる。芽が動くなどの品質低下を防ぐため、4月末までに作業を終える。
- 2 トレンチャー耕は、穴落ちなどを防ぐため適正速度を守る。
- 3 種いもは、栽培法に合わせて準備するとともに、早植栽培では4月下旬から5月上旬に植付けする。

○トンネルにんじん、だいこん

好天時は換気し、生育ステージに合わせた適正な温度管理に努める。

○トマト、メロン

- 1 苗は、定植に向けて徐々に気温を下げて順化する。ただし、降霜が予想される時や低温時には、二重被覆や暖房器具等で保温に努める。
- 2 地温の確保のため、早めにマルチングを行うなど、ほ場準備を計画的に進める。

~~~~~  
決め手は土づくり！ 日本一健康な土づくり運動展開中！  
~~~~~

春の農作業安全運動を展開中です（4月1日～5月31日）
~~~~~



| 報道機関用提出資料 |                                     |
|-----------|-------------------------------------|
| 担当課       | 農産園芸課<br>野菜・畑作物振興グループ               |
| 担当者       | 井澤 主査                               |
| 電話番号      | 直通 017-734-9481<br>内線 5079          |
| 報道監       | 農林水産部<br>津島 農商工連携推進監（次長）<br>内線 4966 |